

平成31年度日本遺産申請について

1 平成30年度日本遺産認定結果を踏まえ示された改善事項

構成文化財の検討、麒麟獅子舞を体験・体感できる工夫を含め、ストーリーと結び付けた地域活性化計画の方向性をさらに打ち出すこと

2 審査員意見を踏まえた解決すべき課題とその改善方針

ストーリーの課題

①圏域一の知名度を誇り、一番の特徴といえる「鳥取砂丘」が埋没している。

改善方針

資料 P1、P6～7

「風」をテーマに鳥取砂丘（砂）を軸とするストーリーに構成し、山間部（雪）や海岸部（波）の特徴や歴史、麒麟獅子舞と人々の暮らしを語る。

<新たなストーリーの構成>

序章⇒⇒砂の賜物⇒⇒雪の賜物⇒⇒波の賜物⇒⇒麒麟獅子⇒⇒まとめ

②構成文化財が風景ばかりで人の手の加わった文化財が少ない。

改善方針

資料 P8～17

潟湖、砂洲、建造物など新たに13の文化財を追加（計30件）

⇒多鯰ヶ池、湖山池、桂見遺跡出土縄文時代遺物一括、日光池、青谷上寺地遺跡、板井原集落、矢部家住宅、太田家住宅、三百田氏住宅、木島家住宅、蔵通り、因幡・但馬沿岸の岩石海岸の漁港、旧余部橋梁 を新たに追加

※既選定の構成文化財「若桜鉄道若桜線」内に●雪覆、●若桜駅転車台、●若桜駅流雪溝も追加

地域活性化計画の課題

①麒麟獅子舞を観光客に体験、体感してもらう工夫が必要。

改善方針

資料 P18～27

■鳥取砂丘等で麒麟獅子舞を定期的に提供するプログラム「麒麟塾（仮称）」の構築

⇒保存会、智頭農林高、浜坂高の麒麟獅子舞などとの連携

■因幡万葉歴史館を拠点化し展示内容、体験メニューの整備・充実

■VR動画の制作による麒麟獅子舞の疑似体験の実現

■絶景と麒麟獅子縁の神社を巡る「麒麟ご縁社巡り」の観光ルート化

■開発広報ツール（HP、映像、パンフレット等）への全ての麒麟獅子の舞う日、場所の掲載

■大河ドラマ「麒麟がくる」、キリンググループやイオンなど企業、メディア等との連携による情報発信、普及啓発活動の実施

■認定後を見据えたDMOとの連携及びDMOによる麒麟獅子を生かした取組の実践

3 今後の予定

- 11月26日 文化庁協議
- 12月 上旬 平成31年度日本遺産申請の募集開始（予定）
- 1月 上旬 申請書の提出（予定）